

上富良野高 CLASSプロジェクト

地域課題探究型学習を

26日にコンソーシアム会議

【旭川】道教委が本年度から新たに3カ年で進める道CLASSプロジェクト推進校の上富良野高校（辻芳恵校長）の事業計画がまとまった。地域の特色を生かした地域課題探究型学習プログラムの開発・実践などを通じ、地域に根差した学校づくりや地域に貢献する人材育成を推進。今後、26日に第1回地域連携コンソーシアム会議を開催し、地域コーディネーターを主軸に地域の関係機関との連携を図っていく。

道CLASSプロジェクト 材育成を図る

ト（地学協働活動推進実証事業）は、地域と学校との連携・協働を推進し、活動を通して、まち・ひと・しごとと学びのつながりをつくりに貢献することが目的。地域コーディネーターを配置して高校と自治体や産業界をつなぎ、地域課題探究型のキャリア教育などを推進する。

【研究仮説】

▽課題解決型学習プログラムの実施

▽学校設定科目「地域探究」において主体的・対話的に深い学びのこころを

課題解決型学習プログラムを教科等横断的に実施すること、本校が目指す生徒の育成を図ることができ

る。また、地域の課題を積極的に取り入れたテーマをもとに生徒と地域の大人が共に学び合うことで、グローバルな視点をもってコミュニティを支える地域のリーダーを育成することができ

る。計画内容はつぎのとおり。

【研究テーマ】

▽地域課題探究型学習プログラムの開発を通して、本校が目指す資質・能力の育成を図る

▽地域連携コンソーシアムの構築

▽地域コーディネーターを主軸とした地域連携コンソーシアムの構築によって、長期的な視点に立った持続可能な組織体制を確立し、地学協働の中心となる

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

道内4圏域から推進校などを指定するうち、道北地区では上富良野高を推進校、豊富高校を連携校、旭川農業高校をサポート校に指定した。

課シオパーク推進室の中村有吾室長

▽十勝岳シオパークガイドの国枝孝行氏

▽コンソーシアム

令和2年度導入のコミュニティ・スクールを軸に、上川教育局、上富良野町、町内小・中学校、十勝岳シオパーク推進協議会、国立大富良野青年交流の家、推進校、連携校、サポート校等と連携。

今後は活動内容によって大学、町内会、商工、観光、農業などの様々な企業、団体との連携を予定。

【本年度の主な取組】

▽育成を目指す資質・能力を軸とした事業計画と授業

学校として定着することができ。

【地域コーディネーターとコンソーシアム】

▽地域コーディネーター

▽上富良野町役場企画観光

上富良野高校（辻芳恵校長）の1年生約30人は9月下旬、同校で外部講師から課題解決の基礎を学んだ。

道CLASSプロジェクトの推進に向け、総合的な探究の時間の一環として実施したもの。国立大富良野青年交流の家、門前詩織主任企画指導専門職を講師に招き、生徒は探究活動のポイントについて理解を深めた。

同校は総合的な探究の時間において、3年間を通して町の課題や魅力について考える地域探究活動を展

開。1年生では、上富良野町の歴史や自然、施設などの地域素材を通して、課題

改善案の検討

▽地域の特色を生かした地域課題探究型学習プログラムの開発

▽主体的・対話的で深い学びの充実に向けた教科等横断的な授業改善

▽評価方法の開発・実践と検証

【取組の具体例】

▽生徒の探究的な学び

▽1年生

地域探究基礎で、十勝岳シオパーク推進協議会、国立大富良野青年交流の家と連携した探究活動の基礎を学ぶプログラムを2回にわたって実施。2回目の活動は課題をもとにしたインタビューとフィールドワーク

発見のプロセスと探究活動の基礎を学習する。

2年生では1年生での学びを生かし、様々な地域課題をテーマに設定して、グループで課題解決型探究学習を実施。3年生では、地

域探究の成果を地域に向けて提言することにも、他校の生徒と成果の交流を図ることとしている。

この日、1年生が課題解決の基礎や探究活動のポイントを学ぶため、門前主任

を実施。

10月1日にはまともを発表し、振り返りをポートフォリオ化した。

▽2年生

4月からスタートした地域素材をもとにした地域探究において、9月24日に中間報告会を実施、グループ間で活動内容や進捗状況を共有するとともに、外部関係者からの評価とアドバイスをもらい、今後の活動に生かす取組を行った。

▽教員の研修

▽グループワーク評価、ポートフォリオの研修

▽地域と連携、協働した教育活動を実践する学校の視察研修

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。

生徒たちは実際に1学期に行った活動を4つのプロセスに当てはめ、振り返りを行うグループ活動を実施。その後、次時以降に行うフィールドワークに向けた仮説を立て、検証方法を考えた。



グループで探究のプロセスへの理解を深めた